

確定申告書の記載手順

○ 「確定申告書」は、「申告書B第一表、第二表」及び「申告書第三表(分離課税用)」の申告書用紙を使用します。ここでは、【事例1】(4ページから11ページ)に基づいて作成した「申告書B第一表、第二表」及び「申告書第三表(分離課税用)」を示して、申告書の記載手順を説明します。

○ 記載手順は、矢印と番号①から⑦で記載箇所ごとに表示しています。各記載箇所の記載方法の詳細は、各【事例】をご覧ください。

なお、「確定申告書」の作成に先立って、「譲渡所得の内訳書(確定申告書付表兼計算明細書)」などの各種明細書(国税庁ホームページからダウンロードできます。なお、税務署にも用意してあります。)を作成します。

(記載した部分は、便宜上、青色で印刷しています。)

記載手順

① 「譲渡所得の内訳書(確定申告書付表兼計算明細書)」などを作成します。(4~5、12~13、18~19ページ参照)

② 第一表の収入金額等と所得金額の箇所を書きます。(6、14、20ページ参照)

③ 第二表を作成します。
第二表は、②及び④の記載と併せて作成します。
(第二表の記載例は、7、15ページを参照してください。)

④ 第一表の所得から差し引かれる金額の箇所を書きます。(8ページ参照)

⑤ 第三表の分離課税の収入金額や所得金額などの箇所を書きます。
(9、16、21ページ参照)

⑥ 第三表の税金の計算の箇所を書きます。
(10、17ページ参照)

⑦ 第一表の税金の計算、その他などの箇所を書きます。
(11、17、23ページ参照)

申告書記載に当たってのお願い

記載に当たっては、次の点についてのご協力をお願いいたします。

- 申告書等は、黒いインクのボールペンで書いてください。
なお、申告書は複写式となっていますが、2枚目(控用)は取り外して使用しても差し支えありません。
- フリガナは、濁点「ㇿ」半濁点「ㇻ」は一字分とし、姓と名の間は一字空けてください。
- マス目が設けられている記載欄に数字を記入する際には、右の記載例にならってマス目の中に丁寧に書いてください。
なお、1億円以上の金額がある場合には、右の記載例にならって書いてください。
- 記入事項を訂正する場合には、二重線で抹消し、その上の欄などの余白に適宜書いてください。

【記載例】 縦線1本 隙間を空ける 上に突き抜ける 角を作る
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 閉じる

【記載例】 (金額が1,234,500,000円の場合)
1 2 3 4 5 0 0 0 0 0 0

【記載例】
配 当 ④ 1 2 3 0 0 0 0
給 与 ② 2 3 0 0 0 0 0 0

申告書B第二表

申告書B第一表

令和01年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書B

整理番号 FA0079

住所 T市〇〇町8-5

氏名 東京 太郎

職業 会社員

収入金額等

所得金額

所得から差し引かれる金額

復興特別所得税額④欄の記入をお忘れなく!!

復興特別所得税額 (④×2.1%)

譲渡所得の内訳書
(確定申告書付表兼計算明細書)【土地・建物用】

【令和01年分】

申告書第三表(分離課税用)

令和01年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書(分離課税用)

整理番号 FA0037

住所 T市〇〇町8-5

氏名 東京 太郎

収入金額

所得金額

税金の計算

特別控除額がある場合は、
特別控除額の合計額⑨③欄の記入をお忘れなく!!

特別控除額の合計額 ⑨③